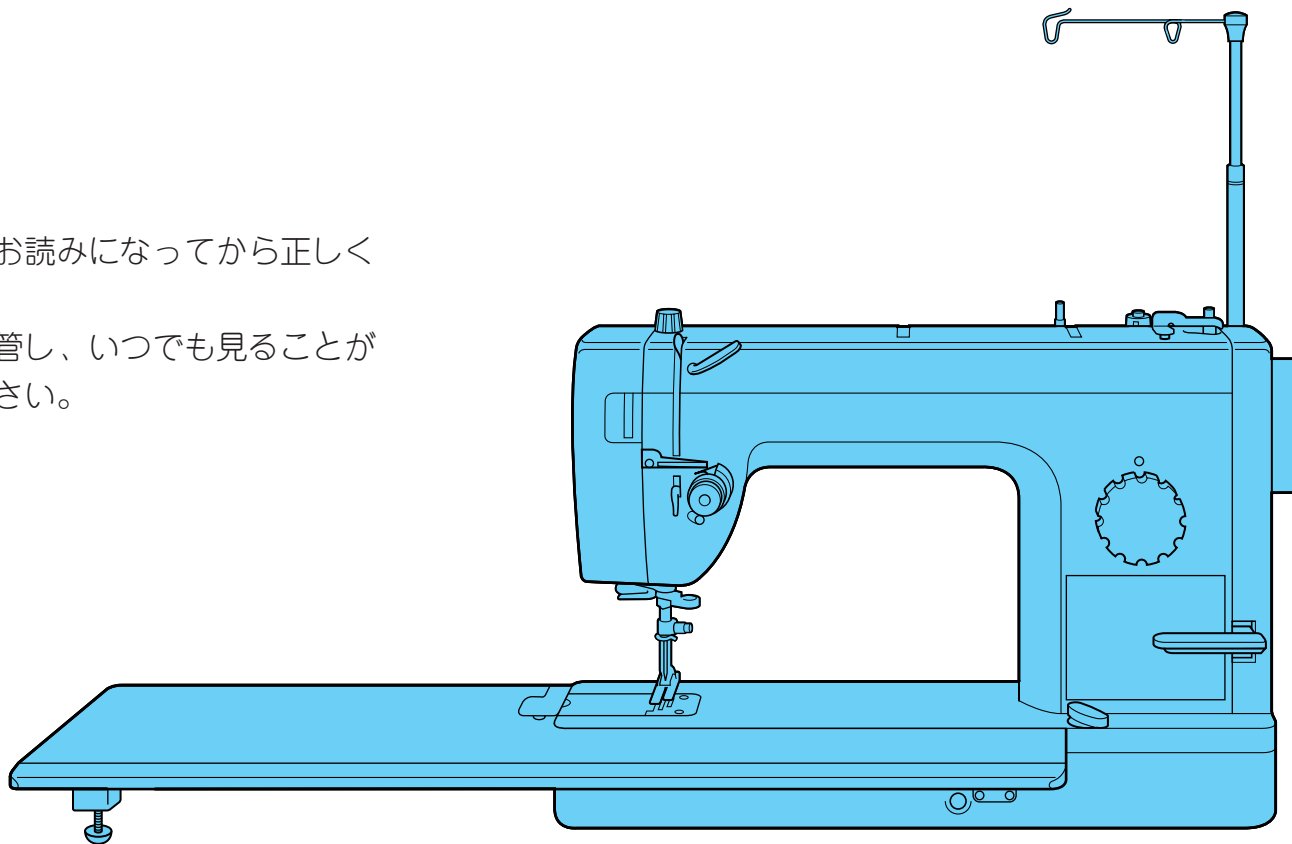
直線ポータブルミシン（HL針用）
TA631 / TA637シリーズ

brother

# 取扱説明書

取扱説明書は最後までお読みになってから正しく
お使いください。
取扱説明書は大切に保管し、いつでも見ることが
できるようにしてください。

# はじめに

この度は、本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になり各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。
また、お読みになった後は保証書とともにお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および本機に使われている表示や絵文字は本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
|  | **この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。** |
|  | **この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。** |

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

 特定しない禁止事項

 特定しない義務行為

 感電の危険があります

 針の下に指を入れないでください

 電源プラグを抜いてください

 火災の危険があります

 分解してはいけません

 特定しない危険通告

 やけどの危険があります

 水に濡らしてはいけません

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

## ⚠警告

● 必ず一般家庭用電源AC100Vの電源で使用してください。それ以外の電源で使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

● 以下のようなときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
- ミシンのそばを離れるとき
- ミシンを使用したあと
- 運転中に停電したとき
- 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
- 雷が鳴りはじめたとき



## ⚠注意

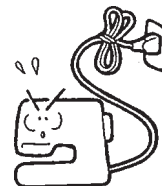
● 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

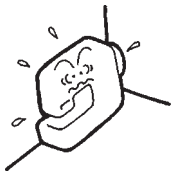
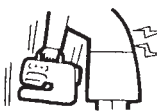
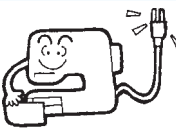
● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

● 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

## ⚠注意

● 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。

● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときは、ミシンの使用をやめてお近くの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。

● 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0～40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。

● 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。（火の消えていないたばこ、ろうそくなど）火災の原因となります。

## ⚠注意

● 野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れた時はお近くの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。

● 以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。

・温度が著しく高くなる場所
・温度が著しく低くなる場所
・急激に温度が変化する場所
・湿気、湯気の多い場所
・火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
・屋外や直射日光の当たる場所
・ほこり、油煙の多い場所

● スプレー製品などをご使用の部屋ではご使用にならないでください。スプレーへの引火によるやけど・火災の原因となります。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。

## ⚠注意

● ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から30cm以上離してお使いください。また、換気口やコントローラーに糸くずやほこりをためないようにしてください。火災・感電の原因となります。

● ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● ミシン本体などの換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。

● ミシン本体の重さは約11kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。

## ⚠注意

- ミシン本体は必ずハンドルを持って、持ち運びしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、ケガの原因となります。
- ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
- お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。
  指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。
- 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。ケガ・感電の原因となります。
- ランプを交換するときは、ガラスの部分が冷えてから行ってください。やけどの原因となります。
- **<u>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。</u>**
  **<u>また、針、プーリー、天びんなど動いている部品に手を近づけないでください。</u>**ケガの原因となります。

## ⚠注意

- 針と押えは、必ず電源を切ってから交換してください。万一、コントローラーが踏まれると、ミシンが作動してケガをする恐れがあります。

- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針折れの原因となります。

- **<u>針の下などに指を入れないでください。</u>**
  ケガをするおそれがあります。

- 上糸、下糸等に関する操作は、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中、糸がらみ等が発生し、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- 曲がった針は、絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

- 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、すぐに使用をやめてお近くの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

# ⚠注意

| | |
|---|---|
|  | ● 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態になった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。  |
|  | ● ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。  |
|  | ● お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう充分ご注意ください。  |
|  | ● コントローラーの上に物を置かないでください。ケガ・故障の原因となります。 |

・このミシンは、日本国内用です。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
・仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
・本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
・本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
・本書の内容について万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。

# 安全機能

① 電源を入れた直後、またはコントローラーのピンジャックを抜き挿しした直後は、1秒間ミシンは動かないようになっています。
② 糸がらみなどでミシンがロックすると、
- 赤いランプが4秒間点滅します。(ヌーベル250にはついておりません)
- ミシンは自動的に止まります。
- 停止後4秒経過すると、操作可能状態に戻ります。

**⚠注意**

●糸がらみなどでミシンがロックした原因を直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

③ コントローラーのコードの断線が起きると、
- 赤いランプがゆっくり点滅し続けます。(ヌーベル250にはついておりません)
- ミシンは自動的に止まります。

**⚠注意**

●コントローラーの交換が必要ですので、お近くの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。

④ その他の異常を検出すると、
- 赤いランプがゆっくり点滅し続けます。(ヌーベル250にはついておりません)
- ミシンは自動的に止まります。

**⚠注意**

●ミシンの修理が必要ですので、お近くの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。

# 目　次



**おことわり**

機種・仕様によりイラストと異なる部分があります。

# 付属品

※付属品は必ず本機専用付属品をご使用下さい。

ねじ回し（中）

ねじ回し（小）

ミシンブラシ

ボビン（5個）

糸こまキャップ

電源コード

コントローラー

油差し

ミシン針

HL×5 ( #　9－1本 #11－2本 #14－1本 #16－1本 )

ニット針－1本

三つ巻き押え

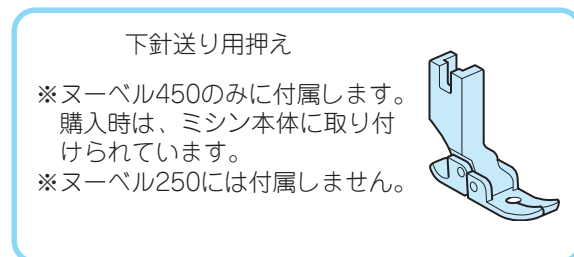
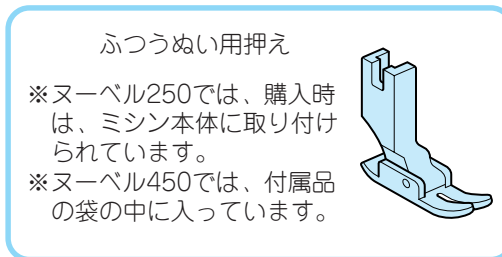
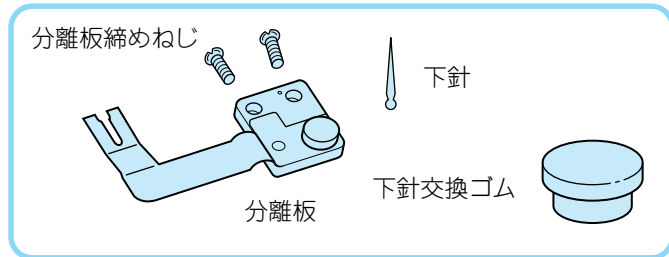
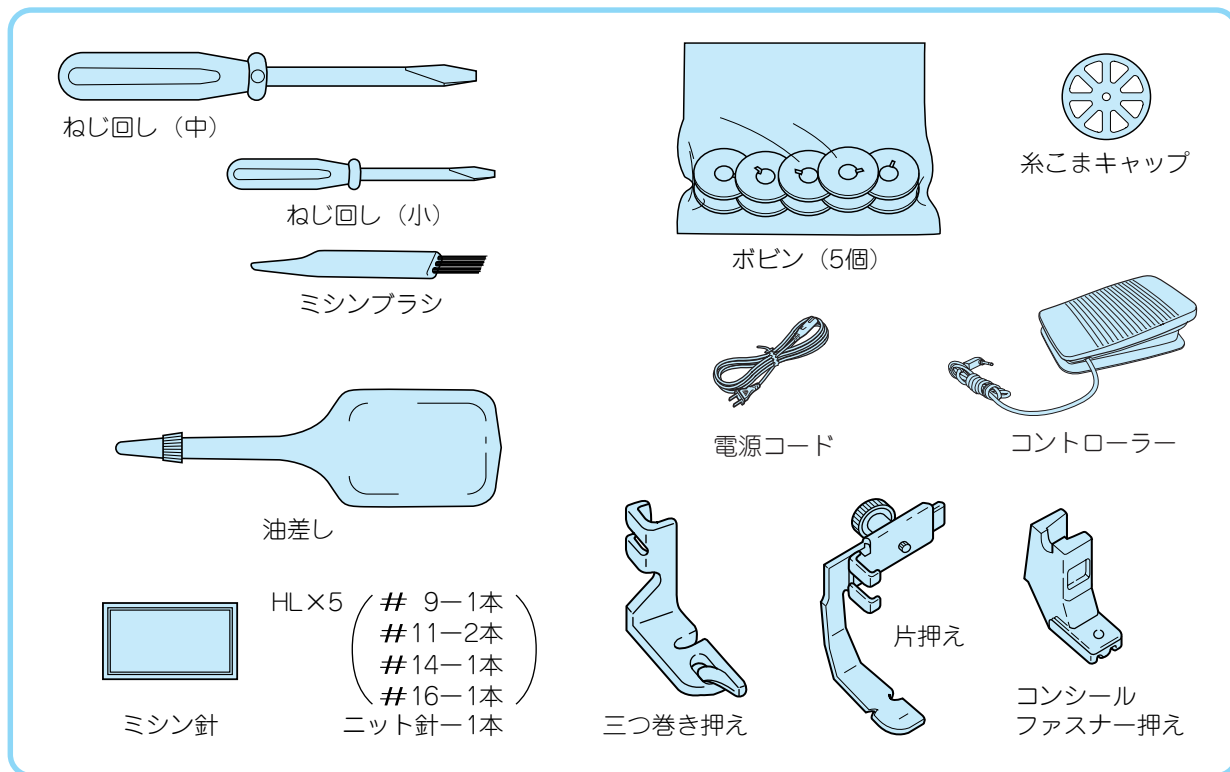
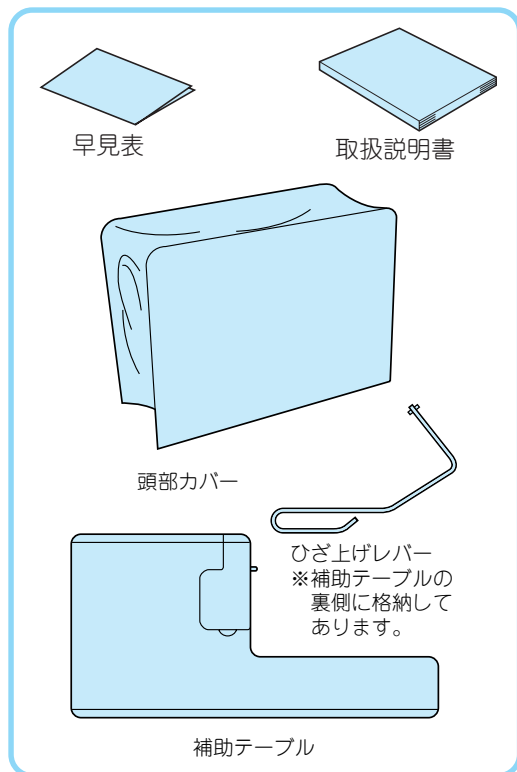
片押え

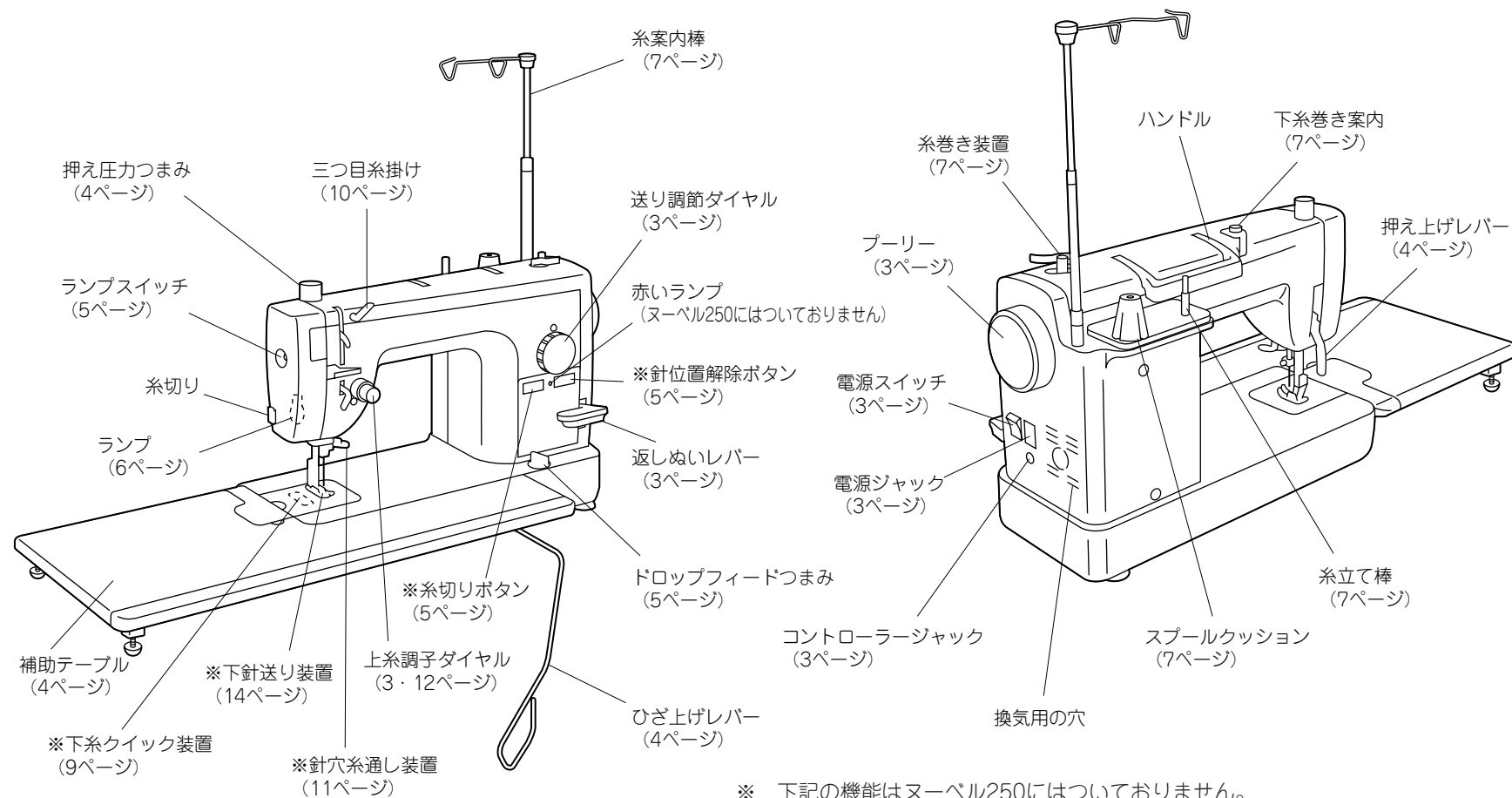
コンシール
ファスナー押え

ヌーベル250にはついておりません。

ふつうぬい用押え

※ヌーベル250では、購入時は、ミシン本体に取り付けられています。
※ヌーベル450では、付属品の袋の中に入っています。

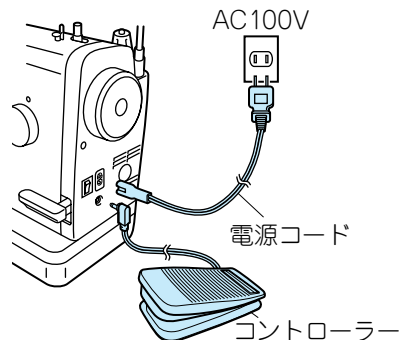
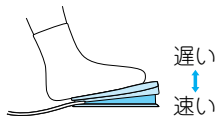
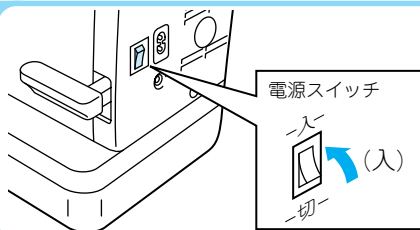
下針送り用押え

※ヌーベル450のみに付属します。購入時は、ミシン本体に取り付けられています。
※ヌーベル250には付属しません。

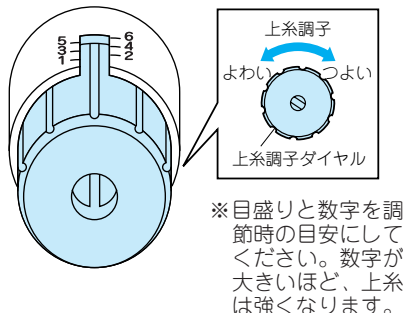
# 各部の名称

※　下記の機能はヌーベル250にはついておりません。
- ◯糸切りボタン・針位置解除ボタン
- ◯針穴糸通し装置
- ◯下針送り装置
- ◯下糸クイック装置

# ぬう前の知識（1）

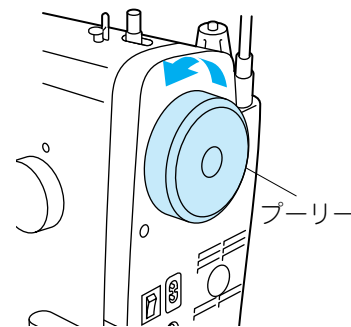
## 電源コード・コントローラー

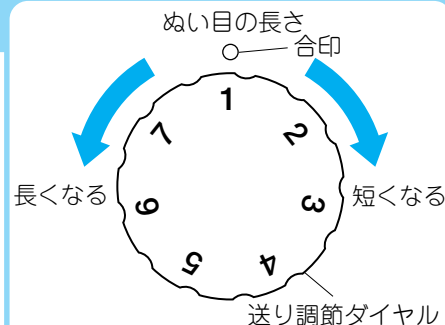
**⚠警告**
コンセントは、一般家庭用電源100Vを使用してください。

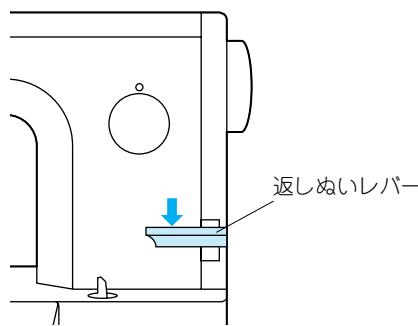
● 電源コードをミシンとコンセントに接続します。
● コントローラーをミシンに接続します。
● コントローラーを浅く踏んでいるときは、ミシンはゆっくりと動きます。深く踏み込むほど、ミシンのぬい速度は速くなります。踏み込みをやめるとミシンは止まります。

## 電源スイッチ

## 上糸調子ダイヤル

● 上糸を強くしたい場合
上糸調子ダイヤルを右に回します。上糸と下糸の重なりが上（表）にでます。
● 上糸を弱くしたい場合
上糸調子ダイヤルを左に回します。上糸と下糸の重なりが下（裏）にでます。
※糸調子については12ページの「糸調子」を参照してください。

※目盛りと数字を調節時の目安にしてください。数字が大きいほど、上糸は強くなります。

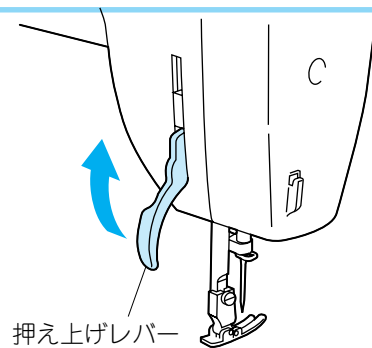
## プーリー

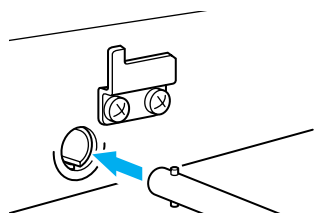
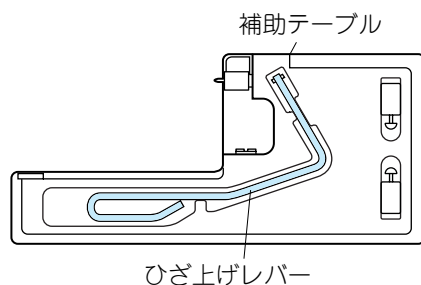
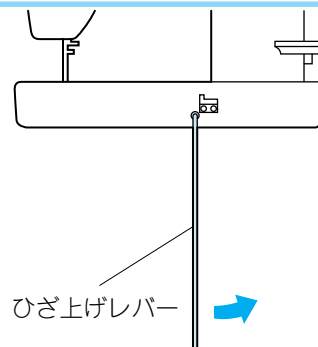
● プーリーを回すと針が上下します。
※ プーリーは必ず手前側に回してください。

## 送り調節ダイヤル

● ぬい目の長さを変えられます。

## 返しぬいレバー

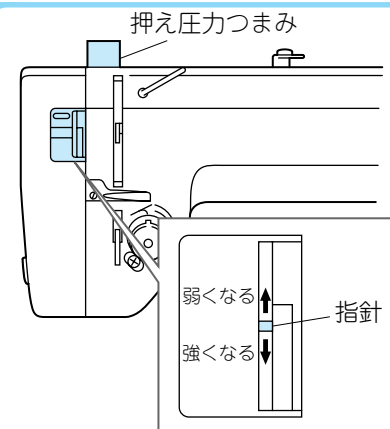
● 下へ押さえている間だけ、返しぬいができます。
※ いっぱいに押し下げてください。
※ 送り調節ダイヤルを5～7に設定した場合、返しぬいの長さは常に5mmとなります。

## 押え上げレバー

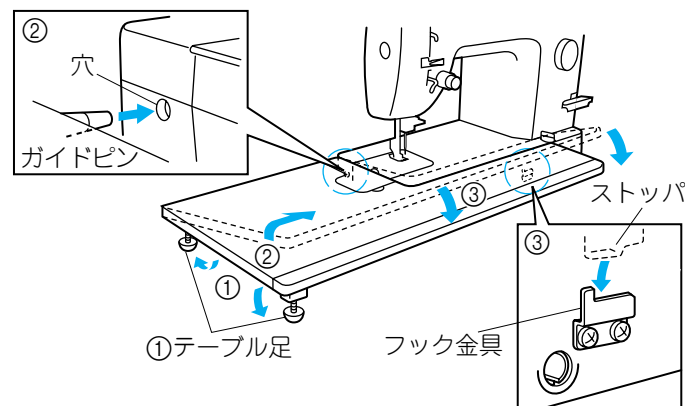
● レバーを下げると押え足が下がり、布地を押さえます。

※ 厚地の重ねぬいなど押え足の下に布地を入れにくいときはさらにレバーを上げて入れます。

## ひざ上げレバー

● 両手を布地から離さなくてもひざ上げレバーを使えばひざで押え足を上げたり下げたりできます。

※ ひざ上げレバーは、使用しないときは補助テーブルの裏側に格納しておけます。

## 押え圧力つまみ

● 押え圧力つまみを回すと指針が上下します。

※ 12ページの「糸調子」を参照してください。

## 補助テーブル

● 補助テーブルのテーブル足を起こしておき、図のようにセットします。

# ぬう前の知識（2）

## 糸切りボタン（ヌーベル250にはついておりません）

**⚠注意**
糸切り中に糸がらみなどでミシンが止まったときは、電源スイッチを切り、手でプーリーが軽く回るのを確認するまでフットコントローラーを踏まないでください。
針が折れるおそれがあります。

● ぬい終わりの上糸・下糸を自動で糸切りします。

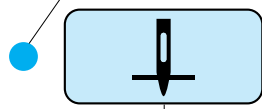
※ 押えレバーを下げた状態で押してください。

## 針位置解除ボタン（ヌーベル250にはついておりません）

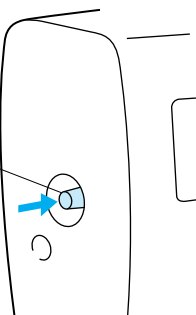
● 赤いランプがついているときはぬい終わりでコントローラーを離すとつねに布に針がささった位置で止まります。

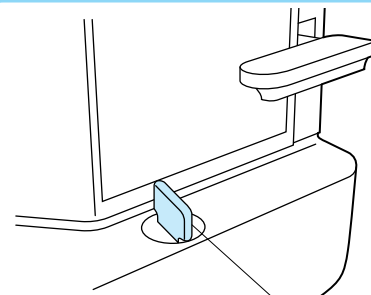
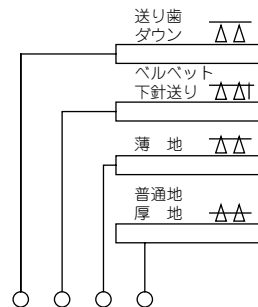
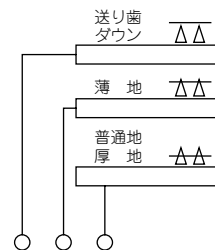
● 赤いランプが消えているときはぬい終わりでコントローラーを離すとすぐに止まります。この場合、針の止まる位置は一定ではありません。

● 糸がらみなどで安全装置がはたらくと赤いランプが点滅します。

赤いランプ

針位置解除ボタン

## ランプスイッチ

● 押すごとにランプがついたり消えたりします。

## ドロップフィードつまみ

● 布地の厚さに合わせて送り歯の高さを変えることができます。

（ヌーベル250）

# 針とランプの交換方法

⚠注意
電源を切ってから行ってください。
交換中ミシンがあやまって作動した場合、けがをするおそれがあります。

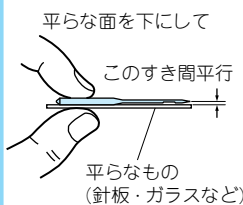
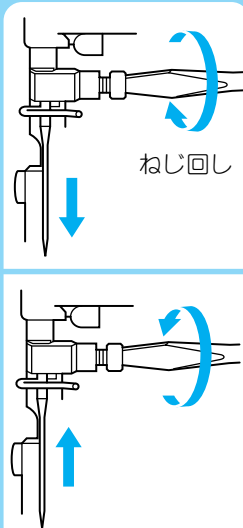
## 針の交換

① 電源スイッチを切り、針が一番上にくるまでプーリーを回し、押え足を下げます。

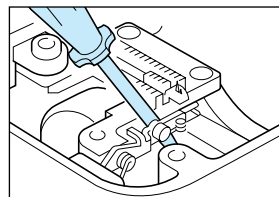
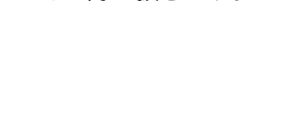
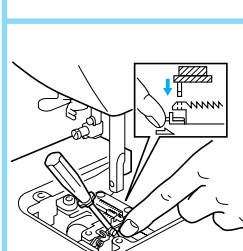
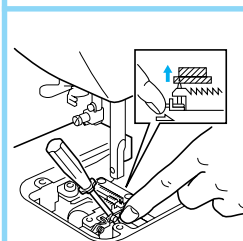
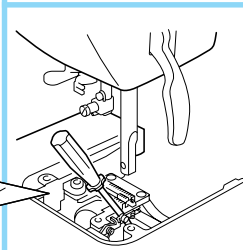
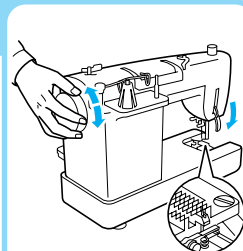
② ねじをゆるめて針を抜きます。

③ 針の平らな面を右にして、いっぱいまで差し込みねじを締めます。

※ 針が十分に差し込んでなかったり、ねじの締め方がゆるいと針折れや故障の原因となります。

※ 正しい針の調べ方

注記
HL×5またはHA×1針を使用してください。
12ページの「布地・糸・針の関係とミシンの合わせ方」を参照して、布地に合った針を選択してください。

## 下針の交換(ヌーベル250にはついておりません)

① ドロップフィードつまみをベルベットの位置にします。
② 押えと針板と針を外します。
③ 押えを下げ、プーリーを手で回し、下針が送り歯から最も出る位置にします。
④ 付属のねじ回し(小)を図の位置にはめます。

⑤ 指でばね先端を押しながら下針交換ゴムを下針へ差し込んで、下針を上方へ抜きます。

⑥ 新しい下針を下針交換ゴムにつけ、指でばね先端を押しながら下針を取り付けます。
⑦ ねじ回し(小)を取り外します。
⑧ 針板、押え及び、針を付けます。

⚠注意
電源を切ってから行ってください。
ランプが切れた直後は、ランプのガラス部分が熱いので時間をおいて、ランプが冷めてから交換をしてください。

## ランプの交換

① 電源スイッチを切ります。

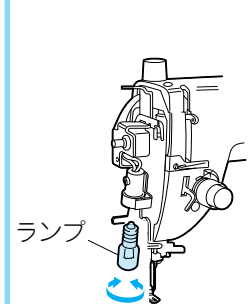
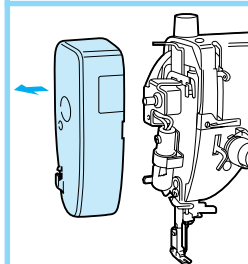
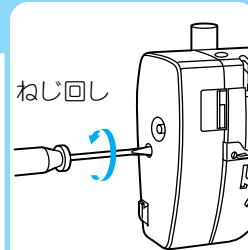
② ねじをはずします。

③ 面板をはずします。

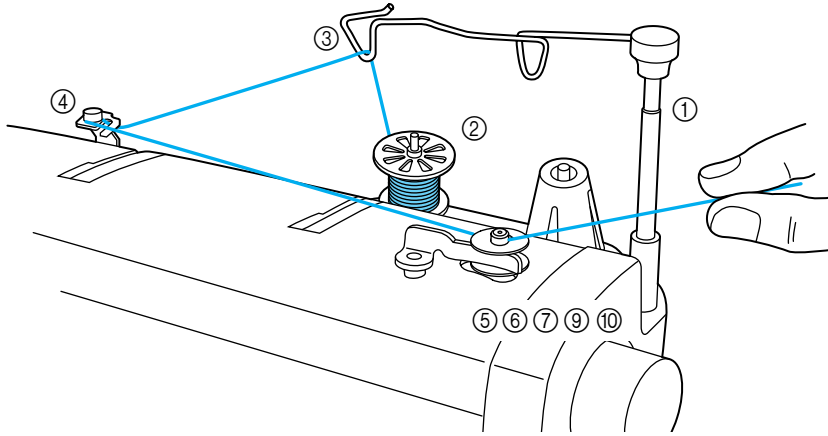
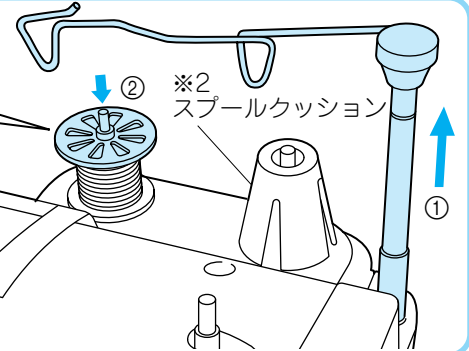
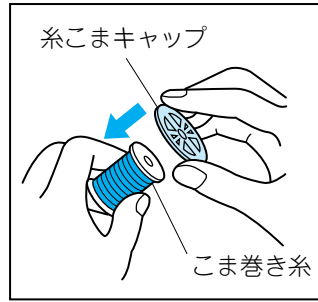
④ ランプを回して抜き取ります。

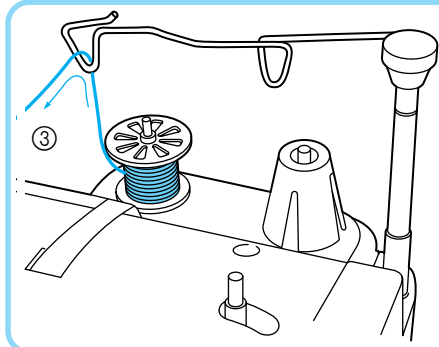
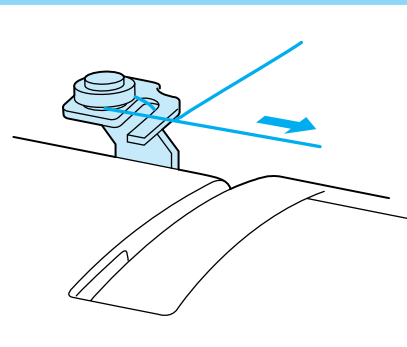
⑤ 新しいランプを回して取り付けます。

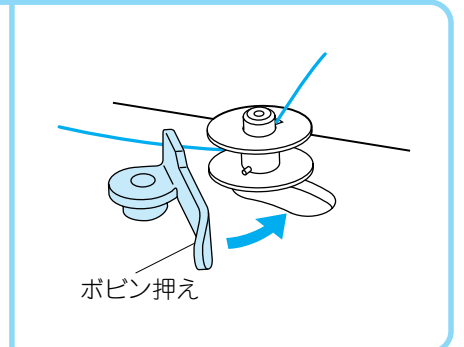
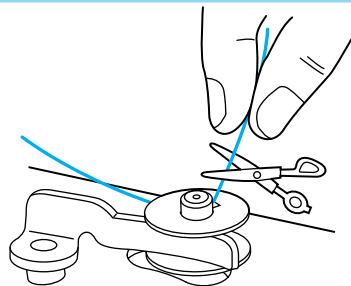
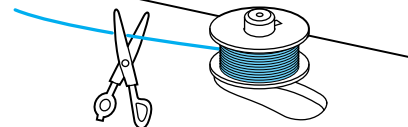
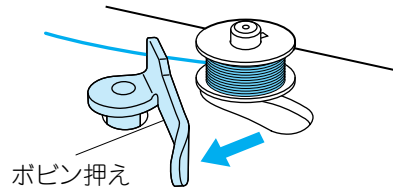
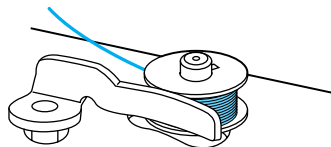
⑥ 面板を取り付け、ねじを締めます。

⚠ランプは必ず専用のもの(120V15W)をご使用ください。他のランプは絶対に使用しないでください。
専用のランプはお買い上げの販売店でお買い求めください。
(部品コードX53061-050)

# 糸の通し方（1）

## ボビンの下糸巻き

⚠注意
ミシン作動中はボビン押えを動かさないでください。

③ ④ ② ① ⑤⑥⑦⑨⑩

① 糸案内棒をいっぱいに立ち上げます。
② 糸立棒にこま巻き糸かチーズ巻き糸を入れます。

※1　こま巻き糸の場合は糸こまキャップを使用してください。
※2　チーズ巻き糸の場合は、スプールクッションの方に差し込んでください。

③ 三角の穴に糸を通します。

④ 下糸巻き案内に糸をかけます。

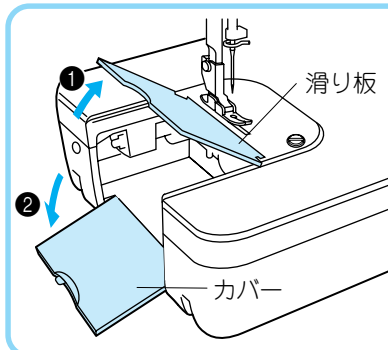
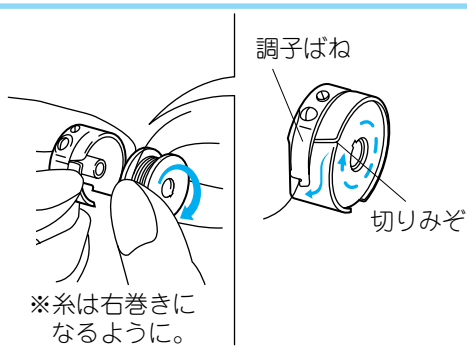
⑤ ボビンの切りかけ1に糸を通し、切りかけ2と糸巻き軸のピンを合わせて入れます。

⑥ ボビン押えをボビンに当たるまで押します。

※ 切った糸端はボビンより出ないようにしてください。

⑦ 糸端を持ってコントローラーを踏みます。少し巻いたらミシンを一旦止めて糸端を切ってください。

⑧ 巻き終わるとボビンの回転は止まります。コントローラーを離します。

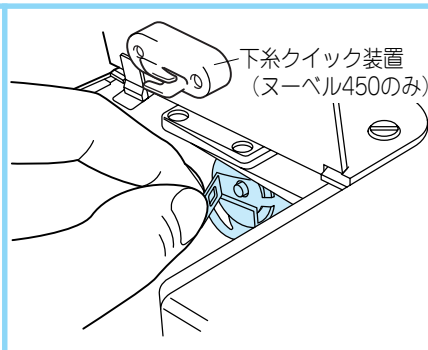
⑨ ボビン押えを手でもどします。

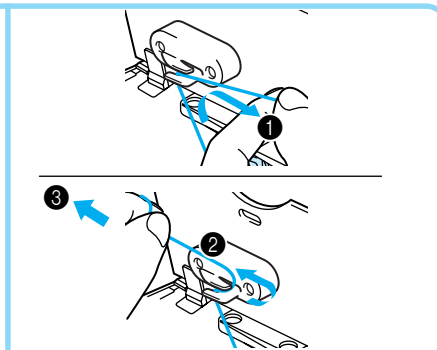
⑩ 糸端を切り、ボビンをはずします。

⚠注意　下糸を交換するときは、必ず電源を切ってから行ってください。

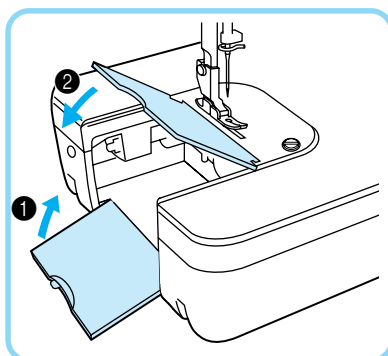
## 下糸のセット

① 滑り板を上げ、カバーを下側へ倒します。

② ボビンをボビンケースに入れます。

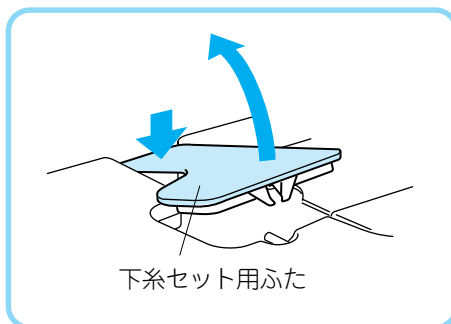
※ 切りみぞに糸をすべり込ませ調子ばねの下へくぐらせて糸を10cmほど出しておきます。

※ 糸切り装置付ミシンには空転防止ばね付ボビンケースをご使用ください。

③ つまみをいっぱいに開いてボビンケースを軸に差し込みます。

※ しっかりセットされていないとぬい始めにボビンケースがとびだしたり、上糸が切れます。

④ 下糸クイック装置に❶❷の順番で下糸を通し、矢印❸方向に引いて糸を切ります。

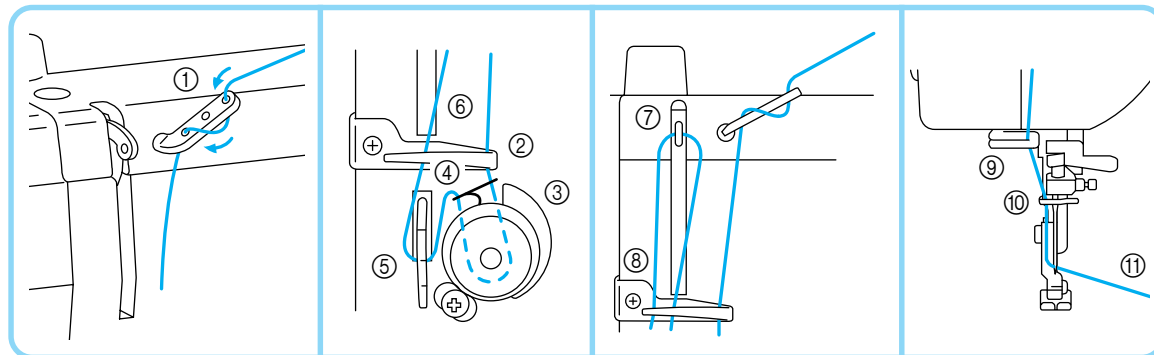
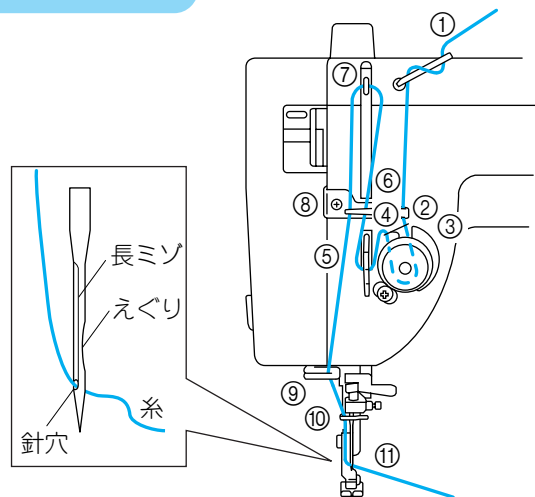
※ ヌーベル250にはついておりません。（そのまま手順⑤へ）

★ 下糸クイック装置
ボビン交換後の下糸端を適当な長さに切断し保持するもので、下糸の引き出し操作（P.11参照）を省くことができます。

⑤ ❶❷の順番で滑り板とカバーを閉じます。

● **補助テーブルをセットしている場合**

あらかじめ下糸セット用ふたを開けて、下糸をセットします。
（補助テーブルを外さなくても、下糸をセットすることができます。）

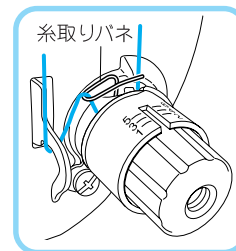
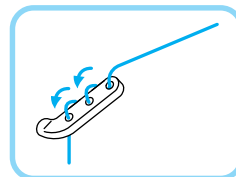
# 糸の通し方（2）

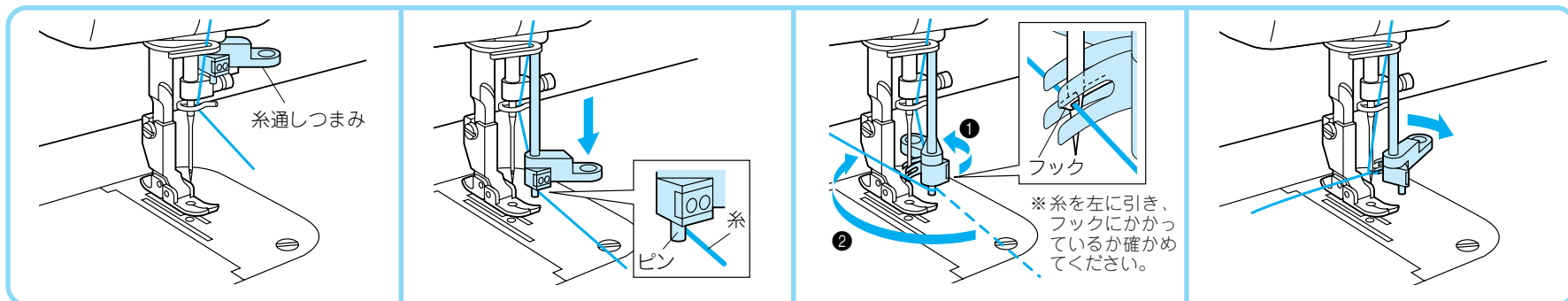
⚠注意　上糸をかけるときは、必ず電源を切ってから行ってください。あやまってコントローラーを踏むとケガをするおそれがあります。

## 上糸のかけ方

● 天びんを最高の位置にして押えレバーを上げておきます。

※ 合繊糸等のヨリの強い糸の場合は、三つ目糸掛け ① の3つの穴に糸を通して下さい。

※ それでも糸のヨリが出る時は、下図のように糸を通してください。

※ 糸取りバネに正しく糸がかかっていないと、糸調子不良の原因になります。

⚠注意　必ず電源を切ってから糸通し装置を使用してください。あやまってコントローラーを踏むとケガをするおそれがあります。

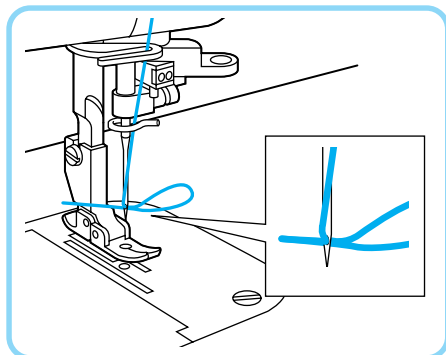
## 糸通し装置の使い方 （ヌーベル250にはついておりません）

① プーリーを手前に回して、針を一番上にして、押え上げレバーを下げます。

② 糸を左手で前に軽く引きます。

③ 糸通しつまみを下まで下げます。

※ 糸がピンの右側にくる様にしてください。

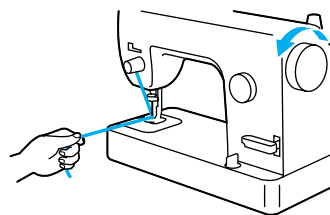
④ 糸通しつまみを❶の方向いっぱいに回し、針穴からフックを出した後、糸を❷の方向に回して糸をフックにかけます。

⑤ 糸を軽く持ちながら糸通しつまみを回転させてもどします。

⑥ ループを右へ引き出します。

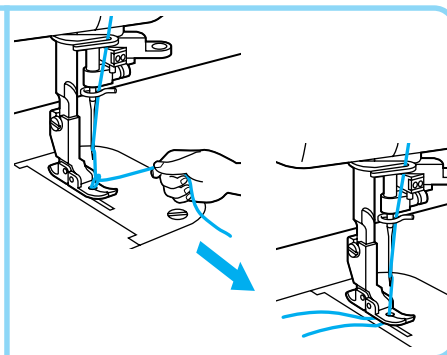
| 針 | 糸 |
|---|---|
| 9番 | 20番 30番 50番 60番 |
| 11番 | 20番 30番 |
| 14番 | 20番 30番 |
| 16番 | 20番 |

● 糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは上記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は上記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

## 下糸の引き出し方

（ヌーベル250のみの操作です。ヌーベル450ではこの操作は必要ありません。）

※ 下糸を巻いたボビンをミシンにセットしてから操作してください。

① 上糸を軽く持ち、プーリーを手前にゆっくり回して針を上げます。

※ 1回転させてください。

② 上糸を引き上げて下糸を引っぱり出し、上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

※ 押えを上げて糸端を押え足の下に入れておきます。

# 試しぬい／糸調子

## 試しぬい

① 送り調節ダイヤルをぬいたいぬい目の長さに合わせます。

② 上糸と下糸を15cmほど出し、針を上げたまま押えを上げて布地（試しぬい布）を押えの下におきます。

※ ヌーベル450の下糸クイック装置を使用する場合は、下糸を出しておく必要はありません。

③ 押えを下げます。

④ プーリーを手前に回して針を布地に刺してコントローラーをゆっくり踏み、スタートします。

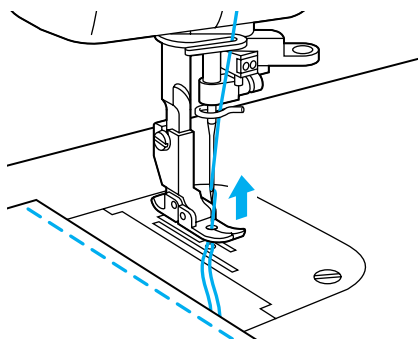
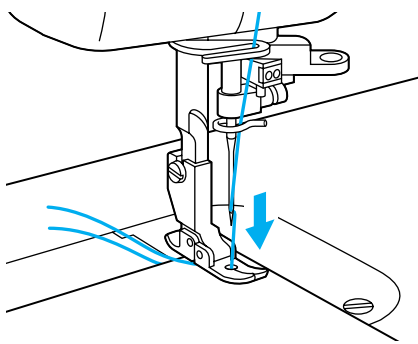
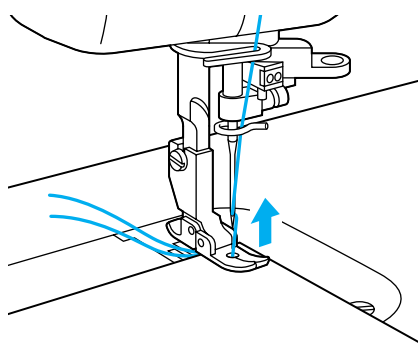
⑤ ぬい終わりの位置まできたら、コントローラーから足を放します。

⑥ プーリーを手前に回して針と天びんを最高の位置に上げます。

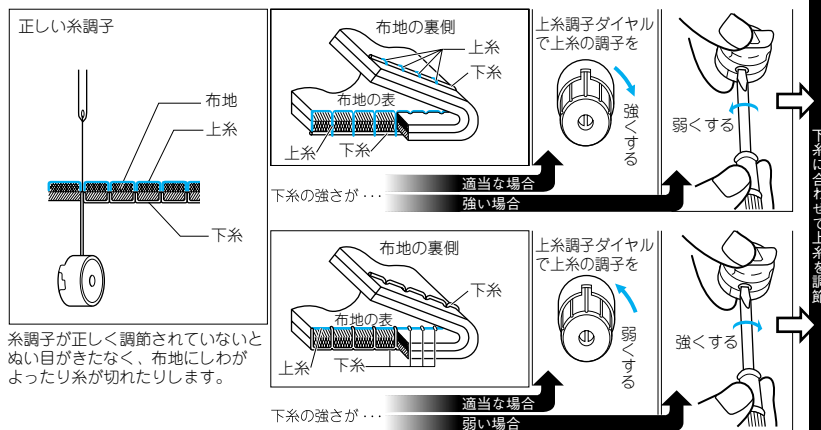
⑦ 押えを上げ、布を引き出して糸を切ります。

※ 糸切り装置を使用するとき
（ヌーベル250にはついておりません）

⑥ 糸切りボタンを押します。押えレバーを下げた状態で押してください。

⑦ 押えを上げ、布を引き出します。

## 糸調子

※ボビンケースの糸調子は、下糸がひっかかりなくなめらかに出る程度が適当です。下糸に合わせて上糸を調節してください。（下糸が強すぎると布地にしわがよります。）

糸調子が正しく調節されていないとぬい目がきたなく、布地にしわがよったり糸が切れたりします。

● **布地・糸・針の関係とミシンの合わせ方**

☆ この表はいろいろなぬい方すべてに関係します。

| | 布地・糸・針の関係 | | |
|---|---|---|---|
| | 布　地 | 糸 | 針 |
| ぬいずれの起こりやすい布地ぬい | ベルベット | 絹糸、合繊糸　30番～50番 | 11番～14番 |
| | セシナーキルト | 合繊糸　20番～50番 | 11番～16番 |
| | 人エスエード | 合繊糸　20番～50番 | |
| | ハイミロンニット | 合繊糸　20番～50番 | |
| | ラッセルコーティング | 合繊糸　50番 | 11番～14番 |
| 薄地ぬい | ローン | 綿糸　80番 | 9番 |
| | トリコット | 合繊糸　60番 | |
| | ジョーゼット（絹） | 絹糸　50番 | |
| | ウール・ジョーゼット | 絹糸、合繊糸　50番 | 11番 |
| 普通地ぬい | ギンガム | 綿糸　60番～80番 | 11番～14番 |
| | 薄手ジャージ | 合繊糸　60番 | 11番 |
| | ギャバジン、フラノ | 絹糸　50番 | |
| 厚地ぬい | デニム | 綿糸　20番～50番 | 14番～18番 |
| | ジャージ | 合繊糸　20番～50番 | 11番～16番 |
| | ツィード | 絹糸　20番～50番 | |

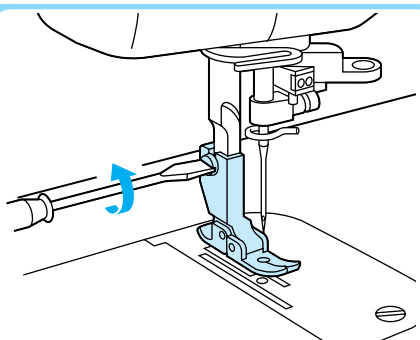
※ 針はHL×5またはHA×1を使用します。（DB×1は使えません）
※ 押え圧力つまみとドロップフィードつまみはミシン本体の表示を参照のうえ合わせてください。
※ トリコット・ジャージ等の伸び縮みの大きい布地でぬい目がとぶときはニット針（金メッキの針）をお使いください。

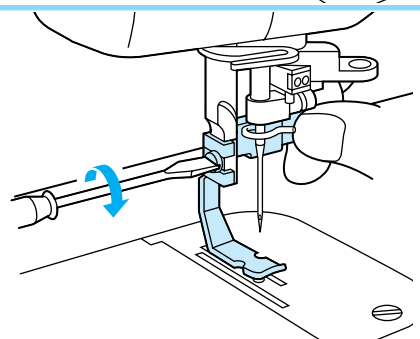
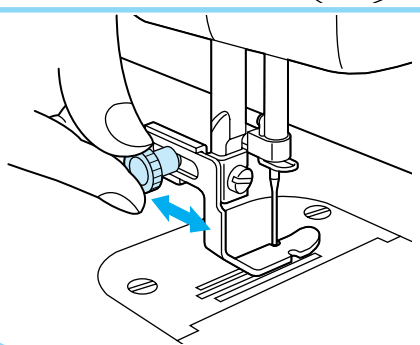
# 押えの取り替え方

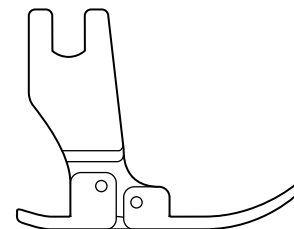
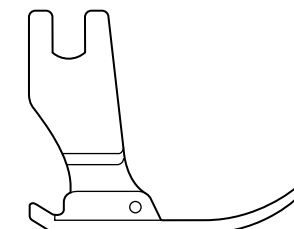
⚠注意　押えを交換する時は、必ず電源を切ってください。あやまってコントローラーを踏むとケガをするおそれがあります。

## 押えの取り替え方（例　片押え）

① 押えを上げて、針を最高位置にします。

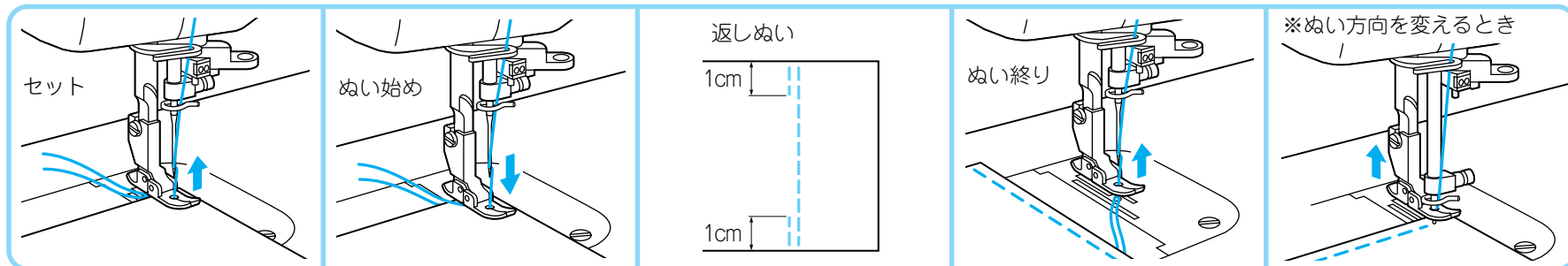
② ねじをゆるめて押えを取りはずします。

③ 片押えを取り付け、ねじを締めます。

※ 三つ巻き押え・コンシール押えも同様に行ってください。

※ 片押えの位置は調節ネジで変えることができます。
※ 三つ巻き押え・コンシール押えは調節はありません。付け替えるだけでぬい始められます。

## 押えについて

● **下針送り用押え（ヌーベル250にはついておりません）**
ベルベット、レザー・スエード等のぬいずれのおきやすい布地がきれいにぬえます。

● **ふつうぬい用押え**
ふつうのぬいに使う押えです。
・厚物及び段ぬいのときにも使用できます。
※ 段をぬうときは手で軽く補助して布送りを助けながら布地を倒した方向にぬいます。
※ 下針送りの場合にも使用できます。

⚠無理に布地を押し込んだりしますと針が折れてけがをする恐れがあります。

※ 上記押え（ブラザー専用部品）は、お買い上げの販売店でお求めになれます。

# ぬい方（1）

## 地ぬい

① 上糸と下糸を15cmほど出し、押えを上げて布を押えの下におきます。

※ ヌーベル450の下糸クイック装置を使用する場合は、下糸を出しておく必要はありません。

② 押えを下げます。

③ プーリーを手前に回し、針を布地に刺してコントローラーをゆっくり踏みスタートします。

※ ぬい始め、ぬい終りに約1cmの長さで返しぬいレバーを押し下げて、返しぬいをします。
ぬい終わったら、コントローラーから足を放します。

④ プーリーを手前に回し、針を最高の位置に上げます。

⑤ 押えを上げ、布地を引き出して糸を切ります。

※ 糸切り装置を使用するとき（ヌーベル250にはついておりません）

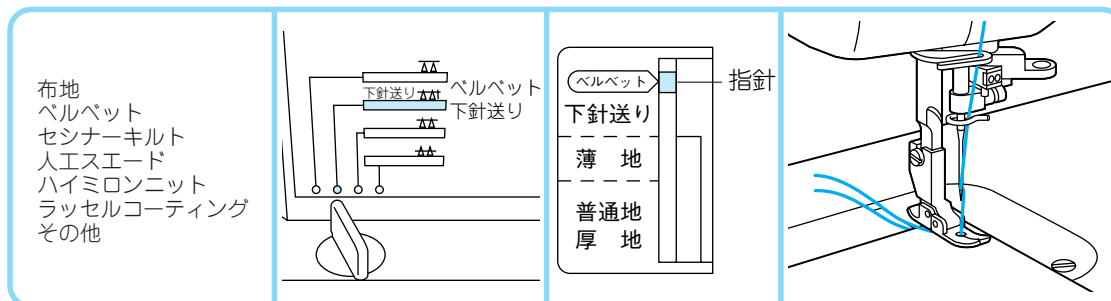
④ 糸切りボタンを押します。（ミシンが上糸と下糸を切り、針が上で止まります）

⑤ 押えを上げ、布地を引き出します。

① 針を布地にさしておきます。

② 押えを上げ、針を中心に布地を回します。

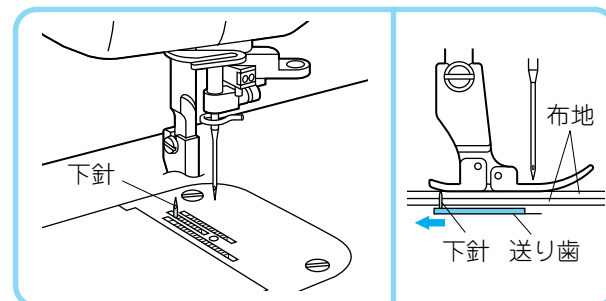
③ 押えを下げて、ぬいます。

## 下針送り（ぬいずれの起きやすい布地）のぬい方 （ヌーベル250にはついておりません）

※ 上の布地について下針送り装置を使用するとぬいずれなくきれいにぬえます。

① ドロップフィードつまみを下針送りに合わせます。

② 押え圧力つまみを回して、下針送りの位置に指示を合わせます。

③ 布地が下針に引っかかるまで糸を引っぱりながらぬいます。

## 下針送り装置について （ヌーベル250にはついておりません）

下針が表と裏の布地をさして送るため、ぬいずれしやすい布地でもぬいずれなくきれいにぬい上げます。

※ 押えを上げると、下針は自動的に下がります。

⚠ 押えレバーを下げると、下針が上がり、送り歯から下針が突き出ます。下針に指などを近づけないよう注意してください。

# ぬい方（2）

⚠注意　押えを交換する時は、必ず電源を切ってください。あやまってコントローラーを踏むとケガをするおそれがあります。

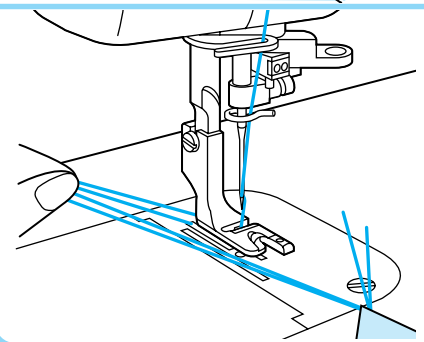
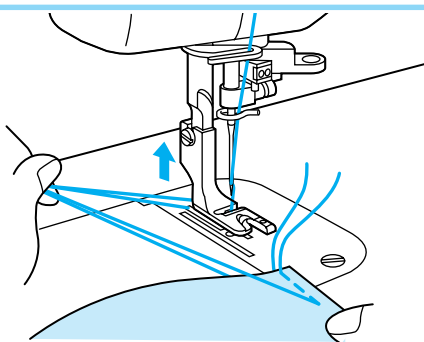
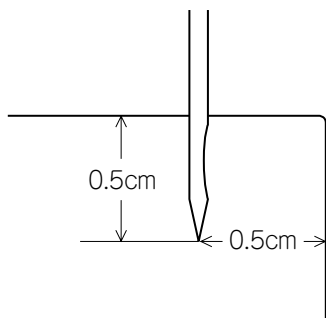
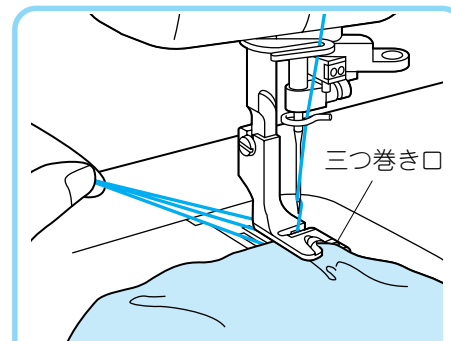
## 三つ巻きぬい

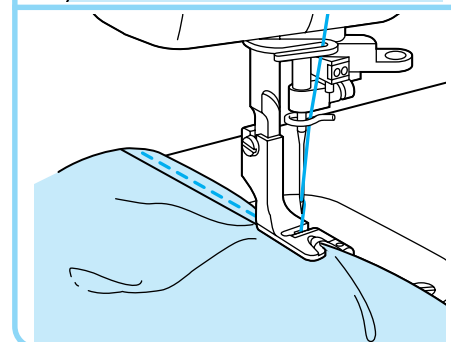
① 三つ巻き押えに付け替えます。

※ 13ページの押えの交換を見てください。

② 布端から約0.5cm入ったところに針をおとし、2針ぬいます。

③ プーリーを手前に回し、針を上げ、押えを上げて布地を手前に引きます。

④ 左手で4本の糸を持ちます。

⑤ 右手で布端を持って三つ巻き口に引き糸部分から差し入れ、針おちの向こうまで布地の端を入れます。押えを下げます。

⑥ ぬい始めの3〜4針は引き糸を向こう側へ引っぱりぎみにすると簡単にぬうことができます。

⑦ 巻き込み幅を0.5cmほどかぶせるようにして布地を持ちます。巻き込み幅を適当に加減しながらぬいます。

# ぬい方（3）

**⚠注意**
押えを交換するときは、必ず電源を切ってください。
あやまってコントローラーを踏むとケガをするおそれがあります。

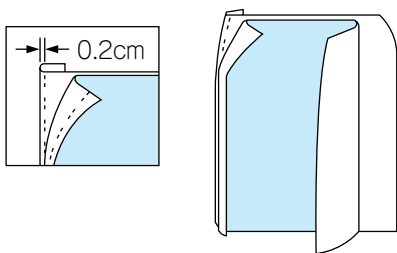
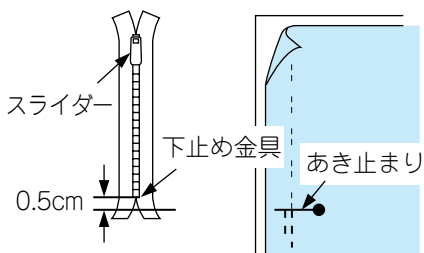
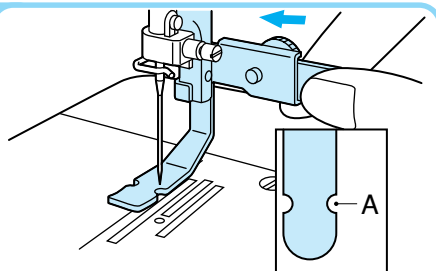
## 片押え

① 片押えに付け替えます。

※ 13ページの押えの交換を見てください。

② プーリーを手前に回して針をおとし、押えの位置を決めます。

③ ファスナー付けの部分にファスナーを当てて下止め金具より0.5cm下がった位置にあき止まりのしるしを付けます。
あき止まりから下はぬっておきます。

④ ぬいしろを割ります。ファスナー付け位置の重なりが下になる方のぬいしろをしるしから0.2cm外側で折ります。

⑤ ファスナーをしつけで止めて、しるしのところをぬいます。

**⚠** ぬう際にはファスナーの金属部分が針に当たらないよう注意してください。針が折れけがをする恐れがあります。

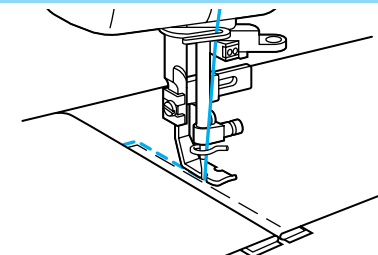
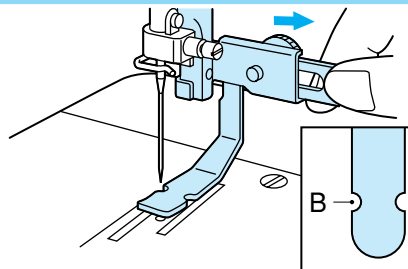
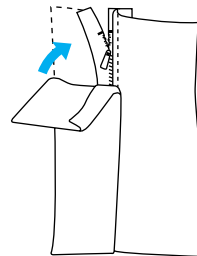
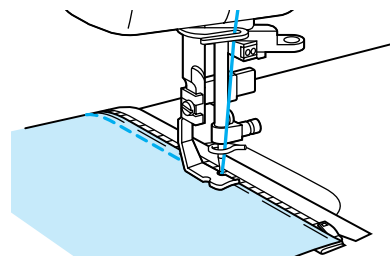
⑥ ぬい目と反対側の折り山を合わせます。

⑦ 押えの位置を変えます。

⑧ プーリーを手前に回して針をおとし、押えの位置を決めます。

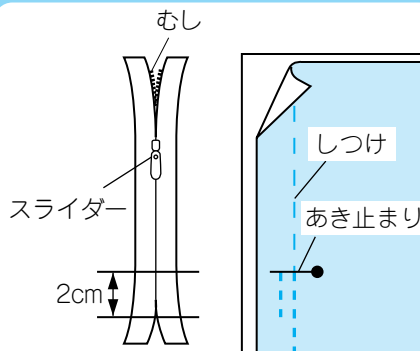
⑨ 布地を表にして、しつけをしてからしつけのきわをぬいます。

※ あき止まりは2度ぬいしてください。

※ スライダーが邪魔な時は、針を刺したまま押えを上げてずらします。

## コンシール押え

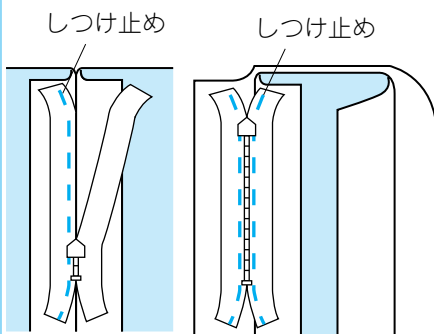
① コンシールファスナー押えに付け替えます。

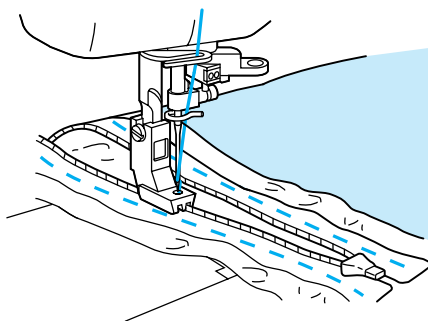
② ファスナー付け部分にファスナーを当て、ファスナーの長さより2～3cm短い位置にあき止まりのしるしをつけます。

③ ファスナー付け位置にしつけをします。

④ ぬいしろを割ります。

⑤ ファスナーをのせてぬいしろだけにしつけをします。

⑥ ファスナーを閉じてもう一方もしつけをします。

⑦ ファスナー付け位置のしつけをほどきます。

⑧ 押えの溝にファスナーのむしをはめ、倒れないようにガイドしながらあき止まりまでぬいます。

※ むしの右側をぬうときは押えの左側のみぞと右側のむしを合わせます。

## 分離板を使った裏地つけ

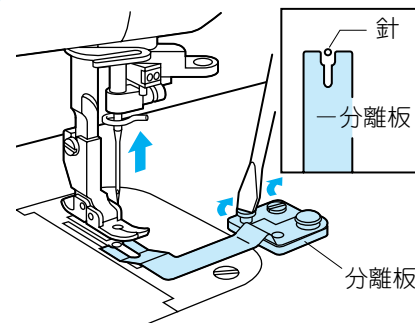
**(ヌーベル250にはついておりません)**

※ ベルベットと裏地をぬい合わせるときに使います。

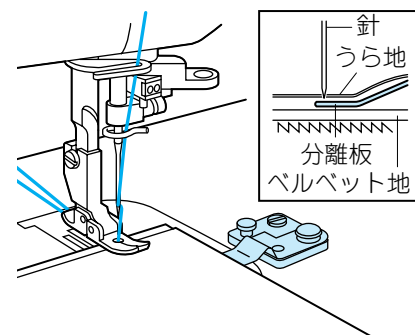
① 下針送り用押えに付け替えます。

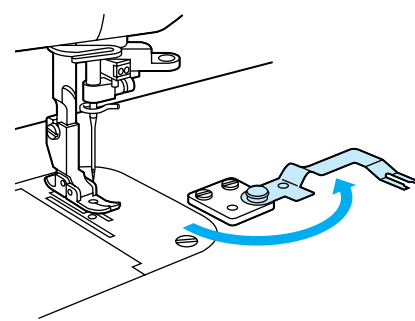
② 針と押えを上げます。

③ 分離板を押えの下に入れます。

④ 針が分離板のみぞの中央になるようにして、針と分離板が当たらないことを確認します。

⑤ 分離板締めねじ(2本)を締めます。

⑥ 押え圧力とドロップフィードつまみを下針送りに合わせます。

⑦ 布地が下針にかかるまで糸を引っぱりながらぬいます。

※ 返しぬいは2～3針にしてください。

⑧ 使わないときははずすか、図のように回転させてねじをしめておきます。

# お手入れ

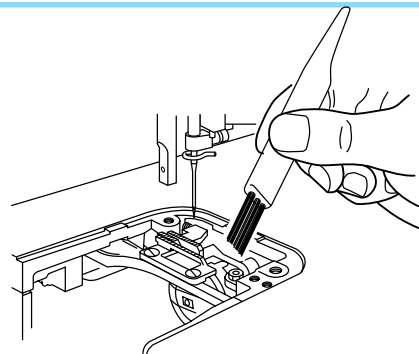
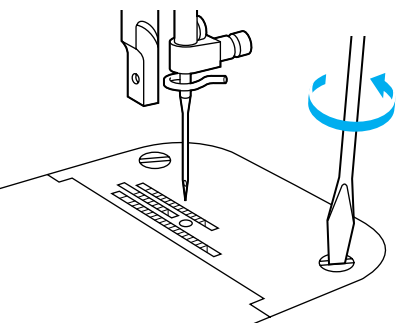
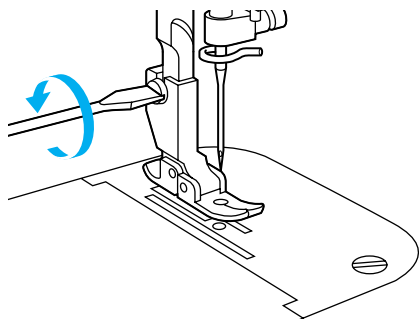
⚠注意
電源を必ず切ってから行ってください。

① 電源スイッチを切ります。

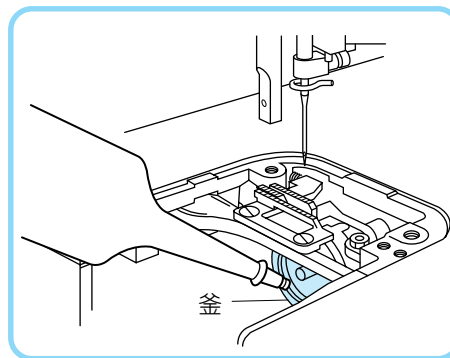
② 押えを取りはずします。

③ 針板をはずします。

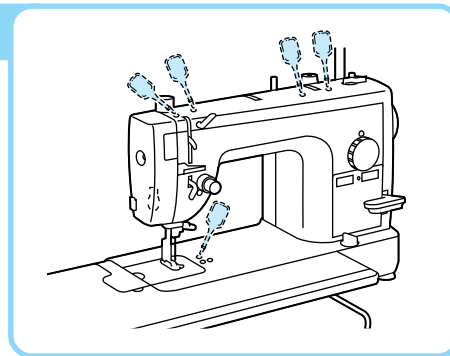
④ ほこりや糸くずを取り除きます。

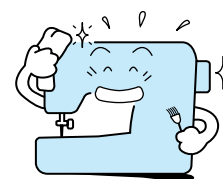
※ 底にたまった糸くずはカバーの口元からはき出してください。

⑤ きれいになったら釜（右図）に一滴注油します。

※ 余分な油は布できれいにふきとってください。

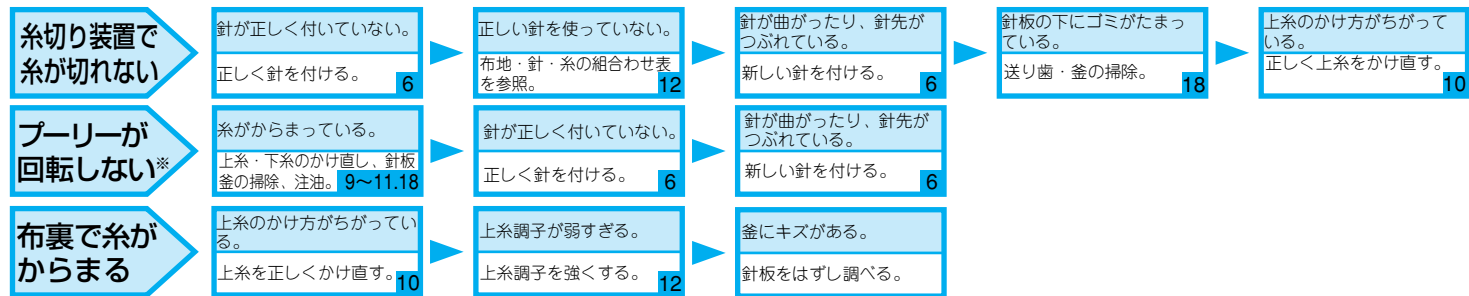
⑥ 針板、押えを取り付けます。

## 注油箇所（5ケ所）

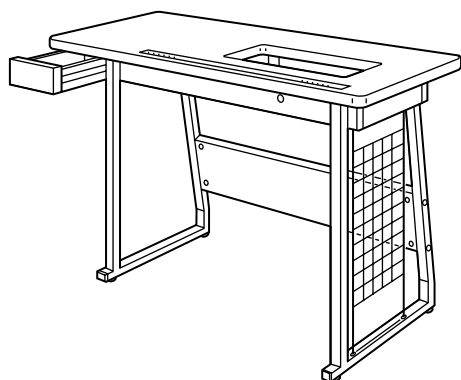
● 毎日使用する場合は、月2回を目安に各所に数滴ずつ注油してください。

※ 注油箇所の近くに付着した油は布できれいにふきとってください。

■ **いつもきれいに**
かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

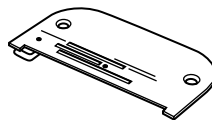
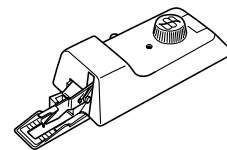
■ **ミシンの大敵**
ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。

# トラブルチェック

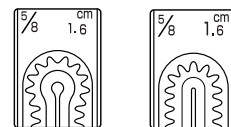
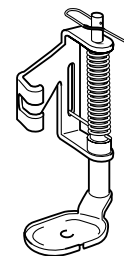
ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）のQ&A を確認してください。
それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119 番）」（フリーダイヤル0120-340-233）にご相談ください。

| 症状 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 上糸が切れる | 上糸のかけ方がちがっている。<br>上糸を正しくかけ直す。 10 | 糸がからまっている。<br>上糸・下糸のかけ直し、針板釜の掃除、注油。 9〜11.18 | 上糸調子が強すぎる。<br>上糸調子を弱くする。 12 | 布地・針・糸の組合わせがわるい。<br>布地・針・糸の組合わせ表を参照。 12 | 釜にキズがある。<br>針板をはずし調べる。 | |
| 下糸が切れる | ボビンケースへの糸の通し方がわるい。<br>正しくセットする。 9 | 糸がからまっている。<br>上糸・下糸のかけ直し、針板釜の掃除。 9〜11.18 | 下糸調子が強すぎる。<br>下糸調子を弱くする。 12 | 釜にキズがある。<br>針板をはずし調べる。 | | |
| ぬい目がとぶ | 針が正しく付いていない。<br>正しく針を付ける。 6 | 正しい針を使っていない。<br>布地・針・糸の組合わせ表を参照。 12 | 針が曲がったり、針先がつぶれている。<br>新しい針を付ける。 6 | 針板の下にゴミがたまっている。<br>送り歯・釜の掃除、注油。 18 | 糸のかけ方がちがっている。<br>糸を正しくかけ直す。 9〜11 | |
| 布地にしわがよる | 糸のかけ方がちがっている。<br>糸を正しくかけ直す。 9〜11 | 布地・糸・針の組合わせがわるい。<br>布地・針・糸の組合わせ表を参照。 12 | 上糸調子が強すぎる。<br>上糸調子を弱くする。 12 | 下糸調子が強すぎる。<br>下糸調子を弱くする。 12 | 薄地ぬいで送り歯が普通地・厚地になっている。<br>ドロップフィードつまみを薄地に合わせる。 5 | |
| 布地を送らない | ぬい目の長さが短すぎる。<br>ぬい目の長さを長くする。 3 | 押さえの圧力が弱すぎる。<br>押さえ圧力を合わせる。 4 | 厚地ぬいで送り歯が薄地になっている。<br>ドロップフィードつまみを厚地にする。 5 | 糸がからまっている。<br>上糸・下糸のかけ直し、針板釜の掃除。 9〜11.18 | | |
| 糸調子が合わない | 上糸のかけ方がちがっている。<br>上糸を正しくかけ直す。 10 | 上糸が糸取りバネにかかっていない。<br>上糸を糸取りバネに正しくかける。 10 | ボビンケースへの糸の通し方がわるい。<br>正しくセットする。 9 | 布地・糸・針の組合わせがわるい。<br>布地・針・糸の組合わせ表を参照。 12 | 糸調子が合っていない。<br>糸調子を調節する。 12 | |
| 針が折れる | 針が正しく付いていない。<br>正しく針を付ける。 6 | 正しい針を使っていない。<br>正しい針に交換。 6 | 布地・糸・針の組合わせがわるい。<br>布地・針・糸の組合わせ表を参照。 12 | 布地を不当に引っぱってぬっている。<br>手はかるく添えてぬう。 14〜17 | | |
| ミシンが動かない | 電源スイッチが入っていない。<br>電源スイッチを入れる。 3 | 電源コードが抜けている。<br>電源コードをしっかりと差し込む。 3 | コントローラーのピンジャックが抜けている。<br>ピンジャックをしっかり差し込む。 3 | ボビン押えが下糸巻き時の位置にセットされている。<br>ボビン押えを正しい位置にもどす。 8 | 油が切れている。<br>掃除・注油。 18 | 安全機能が働いている。 |
| 回転の音が高い | 針板の下にゴミがたまっている。<br>送り歯・釜の掃除。 18 | 油が切れている。<br>上フタ・ベッド・釜に注油。 18 | | | | |
| 糸通し装置が使えない | 針の高さが低い。<br>プーリーを回して針を上げる。 3 | 針と糸の太さが合っていない。<br>針と糸の組合わせ表を参照。 11 | 糸通しのフックが針穴に入らない。<br>フックが曲がっていないか調べる。 | 糸通しのしかたがまちがっている。<br>糸通し装置の使い方。 11 | | |

※プーリーが回転しないときは、トラブルチェックの「ミシンが動かない」の項目を併せて確認してください。

# ヌーベル専用オプション・ヌーベルシリーズの主な仕様

**ヌーベル専用作業台**
X80877-001
使用寸法（mm）幅約1,150 奥行約450 高さ約750

**薄地専用針板**
X80806-151

**ボタン穴かがり器B-6（TA用）**
X80352-101
上記に付属のボタン穴かがり器用駒
ねむり穴（cm）1.0

**別売のボタン穴かがり器用駒**
はとめ穴(cm) 1.6, 1.8, 2.1, 2.4
ねむり穴(cm) 1.3, 1.6, 1.8, 2.1

**キルティングメイト**
X80906-001

**曲線キルター**
X80907-201

## ● ヌーベルシリーズの主な仕様

| 項　　目 | 仕　　様 | | |
|---|---|---|---|
| ぬい速度（最高） | 毎分 1,500針 | | |
| ぬい目長さ（ピッチ） | 0〜7mm | | |
| 針棒のストローク | 34.1mm | | |
| 天びんのストローク | 64.7mm | | |
| 布押え高さ | 押え上げレバー使用時 | 一段目 | 6mm |
| | | 二段目 | 9mm |
| | ひざ上げレバー使用時 | 11mm以上 | |

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 送り歯の高さ | 0.7mm 1.1mm |
| 使用可能なミシン針 | HL×5＃9〜＃18<br>（HA×1＃9〜＃18） |
| ベッドサイズ | 439mm×178mm |
| ミシン総質量 | 11kg |
| モーター定格 | 電圧100V 50/60Hz |
| ビルトインランプ | 電圧120V 15W |
| 補助テーブルの広さ | 幅593mm×奥行283mm |

# アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ **保証書について**

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または下の「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ **お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233**

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの「販売店」または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577　愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室(ミシン119番) Tel ：0120-340-233
Fax：052-824-3031

営業時間：
月曜日～金曜日　9：00 ～ 17：30
(祝祭日、ブラザー販売株式会社休日を除く)

- 「お客様相談室(ミシン119番)」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。

- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または左記「お客様相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 左記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ **ホームページ**

ブラザー工業のホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。

**(URL) http://www.brother.co.jp**

ブラザーソリューションセンターでは、家庭用ミシンに関するサポート情報を掲載しております。

**(URL) http://solutions.brother.co.jp**

**ブラザー工業株式会社**　　取扱店

**名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467-8561**

116-631/637
XE5971-001
Printed in Taiwan